

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法定基準を満たしたスペースを確保している。折り畳み机の活用などで活動スペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人員基準以上のスタッフ数を配置している(定員10名に対し、5～6名のスタッフ)
	3	子どもの失踪や部外者の勝手な侵入が生じないような対策をとっているか	○			扉には施錠忘れが無いよう視覚提示有。防犯としてインターフォンの使用とダブルロックを徹底している。
	4	子どもにとって危険が生じないように、設備や備品等に破損や故障がないか	○			毎朝床拭きを行い、危険物がないか確認している。玩具の定期点検、更新もしていきたい。
適切な 支援の 提供	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、改善につなげているか	○			調査実施後に職員会議にて、共有と改善案の検討を行っている。随時業務改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			会報は公開先が限定されるため、閲覧制限のないホームページで情報公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	次年度は第三者評価を受審し、業務改善につなげたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各種研修に積極的に参加している。今年度はオンライン研修も多く活用し、日時に制限なく参加できた。
	9	日々のアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			日々の個別記録も丁寧に記載し、また、事例検討など、通常のミーティング以外のアセスメント機会も設け、支援計画に反映している。
	10	保護者と半年に1回以上は面談し、個別支援計画を半年に1回は見直し・作成しているか	○			コロナ感染症対応として、面談方法を工夫し実施。非対面の面談では、十分な情報収集ができなかった側面もあるため、今後の課題としたい。
	11	基礎となる活動プログラムの立案(行事や月間予定など)をチームで行っているか	○			事業所会議でアイデアを出しあっている。また、子どもの希望も聞き、実現させる等工夫をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			コロナ禍による制限の中ではあったが、zoom等を使用した活動も盛り込むなど、工夫できている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、活動内容を工夫して提供しているか	○			平日は中高生の下校時間より室内活動がメインとなってしまうが、休日活動では感染症対策に留意しながら、公園等の外出機会を多くつくれた。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる活動を提供しているか	○			感染症対策にて、グループを分けた活動提供を行うことができた。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			プログラム内容等、支援前に打ち合わせを実施し、全スタッフの目で最終調整や改善を行い、活動に臨んでいる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りミーティングの実施、個別の児童対応も皆で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の個別記録も丁寧にできているが、記録を支援により活かせるような共有方法の工夫を検討したい。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			コロナ感染症対策として、活動の制限が生じたため、平日の活動では、室内レクリエーションと制作活動に偏りが出てしまった。
関係 機関 関	19	必要時、障害児相談支援事業所の担当者と連携(担当者会議や相談等)しているか		○		次年度以降は、就労先との情報共有を体系化し、実施する。
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			各学校の連絡担当を決め、その他個別の下校時間等は、各保護者に伝えてもらっている。下校時間の記載ミスが数件あったため、ご利用者に不利益が生じないように改めて注意する。

や保護者との連携や説明等	21	学校行事の見学等、学校での子どもの様子を把握するよう努めているか		○		コロナ感染症対応として、今年度は公開されることがなく残念であった。機会があれば積極的に参加したい。
	22	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡をとりあっているか		○		次年度以降は、就労先との情報共有を体系化し、実施する。
	23	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会への参加や地域の事業所との会議に出席して、情報共有に努めているか	○			地域作業所連絡会、児童部会、放課後連への参加をしている。コロナ感染症対策として、オンライン開催が多かったが参加することができた。
	24	地域の方との交流や外出活動などを通して、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	外出活動等で、社会の中での関わり合いは大切にしている。必要性はあるかの疑問もあり。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳、帰りの送迎の際などにやり取りの機会を持っている。必要に応じて、お電話等でも保護者様とのやり取りを行っている。
	26	入会時や変更時、運営規程、活動の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			コロナ感染症関連については、できるだけ丁寧・かつ迅速に説明するよう心がけた。
	27	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて、お電話等でも保護者様のご相談を聞き、やり取りを行っている。
	28	地域行事への参加を通じ、また保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ禍でふくしまつりや保護者会が中止となり、連携の機会をもてなかった。
	29	苦情があった場合に、懇切に迅速かつ丁寧に対応し、改善策を速やかに伝えているか	○			事業所内での共有、対応体制を整えている。今後も迅速に対応していきたい。
	30	定期的に会報の発行やホームページにて、活動の様子や情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			コロナ禍において、ブログは個人情報のリスク管理の点から懸念事項もあり、更新頻度は下がったが、通信は2か月に1度の定期発行ができた。
	31	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の処理についてはシュレッダーを徹底している。
非常時等の対応	32	地域行事への参加や事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	例年福祉まつりへの参加があったが、コロナ禍にて未実施であった。ハロウィン行事で近くの店舗に行かせていただく機会を設けることができた。また、清掃活動時に近隣の方よりお声をかけていただけたので、今後とも継続していきたい。
	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			対応マニュアルは完備。より役立てられるように、定期的な読み合わせなど、情報共有の手段を検討していきたい。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回以上の避難訓練(地震編・火災編)を実施。コロナ禍により引き取り訓練は見合わせ、保護者様各自で確認をお願いした。次年度は実施したい。
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人研修、事業所内研修、東京都主催研修など、事例検討を入れながら、研修機会を多く持つことができた。未受講者への伝達研修もできている。
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対応方法をすぐ見える壁に掲示するなど工夫をしている。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			定期的に振り返りを行っている。非常勤職員にもどのように振り返りを共有していくかが課題。